

令和5年度第4回北見方面斜里警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年2月29日(木) 午後2時30分から午後3時30分までの間

2 開催場所

北見方面斜里警察署 2階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6人(定員7人)

| | |
|-------|---------|
| 会 長 | 若 松 顕 仁 |
| 副 会 長 | 滝 川 智 貴 |
| 委 員 | 大 西 知 子 |
| | 千 葉 恭 子 |
| | 槻 間 勝 裕 |
| | 二 杉 好 郎 |

(2) 警察署員 5人

| | |
|-----------|---------|
| 署 長 | 佐 藤 厚 |
| 副 署 長 | 渡 辺 有 樹 |
| 刑事・生活安全課長 | 佐々木 洋 平 |
| 地域・交通課長 | 郷 家 徹 也 |
| 警務係長 | |

4 会長挨拶

年明け後すぐに、石川県の地震や羽田空港の事故が続き、今年は一体どうなるんだという心配をしているところです。

石川県の地震には、道警からも職員が派遣されているとのことでもあります。

このような事態がないに越したことはありませんが、万一来て、警察には益々頑張ってもらいたいところでもあります。

本日も、斜里警察署の情勢等について、お話を伺った上で、意見を寄せていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

5 署長挨拶

はじめに、今回の協議会に先立ちまして、委員の皆様アンケートを実施させていただきました。

これは、皆様の御負担を軽減する一方で、広く御意見を賜りたいという趣旨でありますので、御理解いただければと思います。

アンケートで寄せられた御意見につきましては、後ほどそれぞれの担当者から説明がありますが、加えて、本日も積極的な御意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

6 警察署の管内業務概況

- (1) 犯罪発生状況（令和5年12月末）
- (2) 交通事故発生状況（令和5年12月末）

7 諮問事項

密漁事犯の実態と警察の対策

8 事前アンケートで寄せられた要望・意見と警察の回答

(1) 警察署で積極的に行ってほしい活動

ア サイバーセキュリティ対策

- 特に中高生のSNSトラブルに対する注意喚起をしてほしい。

【回答】

これまでも中学校、高校における防犯や交通安全等の講話において、SNSの危険性についての内容も盛り込んでいる。

引き続き、学校関係者と連携して子供達の関心を引く啓発活動に努める。

イ 特殊詐欺被害防止

【回答】

斜里警察署においては、自治会など等での講話や年金支給日における金融機関等での呼びかけのほか、昨年はゆめホールにおいて斜里警察署員が出演した特殊詐欺被害防止のショート映画を上映する等、啓発活動に努めている。

一方で、特殊詐欺被害防止の上で最も重要なことは、御列席の委員の皆様のように高齢の親御さんを支える世代、さらにその下の世代にいかにして特殊詐欺の実情や手口を周知し、関心を持ってもらえるかということになる。

来年度は、こうした世代に参加してもらえる催し等を考えていく。

ウ 不法投棄対策

【回答】

道路上のポイ捨て（コンビニ袋、飲食物の容器等）が散見されるとの意見については、元々の斜里地区居住者、転勤族等、そして技能実習生等の来日外国人を含め、ゴミのポイ捨てをしないというマナーの醸成が肝要と考える。

町や事業者等とも連携をし、警察署もマナー啓発の一翼を担っていく。

エ 密漁事犯対策

【回答】

去年は、当署の働き掛けもあり、「オホーツク東部地区さけます等資源対策協議会」が設立されている。

これは、斜里町、網走市にある4つの漁協と周辺各市町、北見管内さけ・ます増殖事業協会を加えた7機関・団体を会員とし、これにオホーツク総合振興局、海上保安庁、警察等がオブザーバーとして加わり、密漁が多くなる時期前後における合同パトロールや、密漁が発生した際の情報共有等に大きな役割を果たしている。

オ 不審者等対策

【回答】

斜里警察署では、不審者の通報があった場合、すぐに性犯罪やひったくり、特殊詐欺等を視野に入れ、全署体制で対応している。

併せて、警察主体の『ほくとくん防犯メール』や役場主体の『ほっとめーるしゃり』等の媒体を活用して、住民に注意喚起をしている。

今年度は不審者通報から事件に発展した事案はないが、引き続き関心を持って迅速に取り組んでいく。

カ 交通事故抑止

- 雪が高く積もった道路（街中の道道）における交通事故の対策をしてほしい。

【回答】

道路管理者に対して、除排雪の依頼を行う。

また、冬道運転に関する交通安全講話を行い、ドライバーに対して注意喚起を行う。

- 大型トラックによるあおり運転を取り締まってほしい

【回答】

地域係と交通係と連携のうえ、継続して効果的な交通取締りを実施していく。

- 高齢者特有の危険な運転（スピード感覚がない、一時不停止、車線はみ出し、巻き込みすぎ）を取り締まってほしい。

【回答】

継続して効果的な取締りを実施していくほか、高齢者ドライバーに対する交通安全講話、一定期間に複数回交通事故を起こしている高齢者ドライバーに対して、免許返納に関する助言、指導等を実施していく。

- 道路の雪が多く、見通しが悪くなっており、子供達の登下校時の交通事故が心配である。

【回答】

登下校時間帯におけるパトロールの強化、児童や学生に対する交通安全講話を行う。

キ 防災対策

- 災害発生時の道路誘導の迅速化を望む。
- 消防との連絡手段の改善で1秒でも早く現着し、誘導をしてほしい

【回答】

緊急車両が現場に急行できるように緊急交通路を確保する。

当署警備係と地域係、交通係が連携し、各関係機関と早期に情報共有する等して危険箇所を早期に把握し、対応に当たる。

ク その他

- 多くなっている独居高齢者の様々な不安を軽くしてあげる活動をしてほしい。

【回答】

巡回連絡活動を通じて、独居高齢者から不安や悩み事を聞き、助言等を行っているほか、必要に応じて役場等への情報提供を図っている。

また、高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止等に関する講話を通じ、注意喚起も行っている。

(2) その他、警察署に対する要望・意見

- ア 来年度、警察署が予定しているイベントを教えてください

【回答】

- 警察官採用試験受験者募集活動の一環として、警察の業務や職場環境、処遇等の情報発信を目的としたイベントを予定している。
- 密漁対策を目的とした関係機関との合同パトロール、山開きに伴う事故防止啓発、雑踏事故防止を目的とした大規模イベント会場の警備、季節ごとの交通安全運動等を行う。

- イ 道警音楽隊の演奏、カラーガード隊の演技は素晴らしいので、イベントで呼

んでほしい。

【回答】

警察本部広報課の担当者と協議し、来年度中における招致実現を目指し調整中である。

ウ 消防団の演習、防災訓練と一緒にイベントをやってはどうか。

【回答】

前向きに検討することとし、当署の担当者と協議していく。

エ 警察相談専用ダイヤル『#9110』は、電話での相談がしやすくいい。相談件数や事例を可能な範囲で公表することはできないか。

【回答】

令和4年には、全道で相談、要望・意見、苦情の合計で74,805件を受理している。

相談に限った内容の内訳としては、多い順に家庭・職場・近隣関係が9,964件で約14.9パーセントを占め、一番多い項目となっており、刑事事件・暴力団関係、サイバー関係、犯罪等の被害防止、契約・取引関係が続き、これらを合わせると全体の半分以上を占めている。

令和4年の斜里警察署では、相談、要望・意見、苦情の合計で214件を受理している。

警察相談専用ダイヤル『#9110』については、引き続き周知を図っていく。

9 質疑応答及び警察署に対する意見・要望

【委員】

密漁対策について、斜里警察署が尽力していること、さらに事件検挙という結果が出ていることは頼もしい。

【回答】

引き続き、住民の期待に応えていけるように努める。

【委員】

自生大麻について、どのような対策をしているか。

【回答】

斜里警察署管内では、中斜里地区における自生大麻が多いと捉えており、付近の工場等と合同で刈り取り作戦を実施し、効果を上げている。

大麻を見かけた際は、通報願いたい。

【委員】

密漁について、警察への通報がおびき寄せのようなことはないのか。

【回答】

通報がおびき寄せの可能性はある。

さけの密漁のほか、なまこの密漁もあり、これらの中には警察署の様子を偵察に来て、取締まりに出ていないのを確認して犯行に及ぶ者もいる。

いずれにしても、通報があれば警察としては現場に赴き、検挙に至らなかったとしても、けん制や抑止の効果はあるという考えで対策を続ける。

10 次回の諮問事項について

検討して委員とも調整のうえ決定予定

11 次回協議会開催予定について

次回開催は令和6年6月中を予定